

広尾館だより

夏号 (Vol.30 : 2022年7月発行)

新年度に入り3ヵ月がたちました。在校生の皆様には、授業や実習、研究、課外活動など様々な場面で図書館を活用していただけると嬉しいです。今年の夏は猛暑が予想されています。涼しいお部屋の中で、本を読むことを通して新しい世界に触れてみるのも良いかもしれません。本号の「夏の読書案内」「司書のコラム」も読書の参考にしてみてください。

新 館長から皆様へご挨拶

本年4月に図書館長に就任するにあたり、自らのこれまでの人生における図書館との関わりについて振り返ってみました。小学生時代は特に本が好きだったという記憶はありませんが、図書委員をやっていたことは覚えています。ただ、貸出カウンターの事故で切歯の永久歯を折った苦い思い出だけが印象に残っています。中学・高校時代は運動部で忙しく、図書館に足を運んだ記憶はあまりないですが、大学でも全学体育会の対校代表チームで活動する一方で勉学意欲は強く、オフの日に閉館まで図書館で勉強することが喜びでした。

大学院での研究生活では、とにかく文献や最新情報の収集のために図書館に通う日々となりました。海外での研究員時代の生活に慣れない頃は、図書館は時間をつぶすことができる有難い場所でした。その後は学術文献のデジタル化が進み、図書館に足を運ぶことは減ってしまいましたが、娘が小さい頃は地域の公立図書館でひたすら絵本を手あたり次第に借りてきては読み聞かせ、返却してはまた借りてといった関わりになりました。振り返ってみて、その時々状況に応じて何かと図書館と関わってきた人生だったと気付かされました。

本学図書館の看護系蔵書の充実には誇れるものがありますが、フリースペースが少ない学内においても落ち着くことができる貴重な場所だとも思いますので、学生には日々足を運んだことが学生時代の思い出になるよう活用して貰えればと思います。

新図書館長
井上明宏先生



開館カレンダー

開館日・開館時間は
変更になる可能性があります

広尾館

通常開館	月~金	8:50 - 21:00
	土	10:00 - 17:30
	日	13:30 - 17:30
*土日は本学在籍者限定 *日曜は貸出・返却不可 *新卒・留学期間センター研修生は土曜のみ利用可		
短縮開館	8:50 - 14:00	
休館中開館	8:50 - 17:00	
閉館		

日	月	火	水	木	金	土
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

日	月	火	水	木	金	土
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

日	月	火	水	木	金	土
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

大宮館

通常開館	月~金	8:50 - 20:00
	土	10:00 - 17:00
	*本学在籍者限定 (幹部看護部研修センター研修生は利用可)	
短縮開館	8:50 - 17:00	
閉館		

日	月	火	水	木	金	土
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

日	月	火	水	木	金	土
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

日	月	火	水	木	金	土
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

最新情報は図書館HPまで



日本赤十字看護大学図書館 広尾館

『時をかけるゆとり』

朝井 リョウ 著



配架場所：広尾館
展示コーナー
請求記号：914.6/A

夏の読書案内

案内人は
楠田 琴乃さん
看護学部2年生

朝井リョウさんは、二十歳で書いたデビュー作『桐島、部活やめるってよ』が映画化され、会社員との兼業をしながら執筆した『何者』で、直木賞を二十歳の若さで受賞した小説家です。

若者を題材にした作品が多く、複雑でリアルな気持ちの変化を丁寧に描き写していることが特長です。そんな朝井さんの特長を存分に活かして書かれているエッセイ集が、今回紹介する『時をかけるゆとり』です。

この本には大学時代・会社員時代に朝井さんが経験していた出来事が二十三編収録されています。この作品の魅力は、何と云っても面白いことです。小説家の書くエッセイというと、穏やかな暮らしの記録というイメージがあるかもしれませんが、しかし、この本で書かれているのは、十キロを歩くイベントにバスローブで参加した話や「なぜか自転車で京都まで行った話」「美容院でシステムエンジニアと偽り続けた話」などで、概要を見るだけでも面白さ・おかしさが伝わってくると思います。出来事自体が面白いのはもちろんですが、朝井さんの巧妙な描写により、鮮明に場面や気持ちに想像でき、その面白さは十倍にも百倍にもなっています。あまりの面白さに声を出して笑いながら読んでしまうため、電車の中で読むにはおススメできません。ぜひ一人で自宅にいる時に読んで下さい。

七月になり夏季休暇も目前に迫る中、試験や課題に追われている方も多いと思います。ちょっとした休憩時間のリフレッシュにピッタリなこの本が勉強のお供にしてみたいかがでしょうか。

図書館サービスの最新情報は毎週木曜日にポータルで配信しています。
学内情報限定以外は図書館HPの[お知らせ](#)でもご覧いただけます。

活動報告

2022年度 第1回 選書ツアーを開催しました

6月15日、今年度第1回目となる学生選書ツアーが開催されました！ご協力いただいたのは紀伊國屋書店(新宿本店)さんです。学生有志の皆さんと一緒に約300冊の本を選書してきました。ジャンルや年代も様々な本が選書され、学生有志の皆さんの興味や読書の幅広さが伺えます！数ヶ月後に学生選書コーナーに配架される予定です。きっと、あなたの読みたい本も見つかるはず・・・どうぞお楽しみに！



★紀伊國屋書店の担当者さんから説明を受けます。

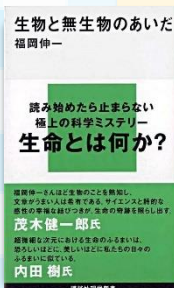


★広い店内で図書館に置いて欲しい本を探します。

司書のコラム

心が豊かになる一冊

広尾館司書が選ぶ心を豊かにしてくれる一冊。
本号と次号の2回に渡りご紹介します。
忙しい日々の合間に、図書館で心の栄養補給をしませんか？



生物と無生物のあいだ

福岡伸一(著)

配架場所：開架 請求記号：460/F

生物とはなにか・・・？そして生命とは・・・？
きっと自分らしいこたえが見つかる一冊です。



悠久の時を旅する = The Eternal Journey

星野道夫(著)

配架場所：開架 請求記号：748/H

写真とエッセイで綴るアラスカの自然と動物、人々の暮らし。目の前にある今とは違う時間の流れが感じられます。



アルジャーノンに花束を

ダニエル・キイス(著) 小尾芙佐(訳)

配架場所：学生選書コーナー
請求記号：933/K

知的障害を持つ主人公はある実験によってみるみる天才に・・・「けえかほおこく」に綴られた飛躍と残酷な運命を描くSF文学です。



夏季・長期貸出の お知らせ

7/19(火) から長期貸出を実施します！
返却期限：2022年10月3日(月)

- ・開始日以前に貸出された図書を延長した場合も返却期限は、**10/3(月)**になります(延滞・予約図書を除く)。
- ・長期貸出中に貸出した本の延長はできませんのでご注意ください。
- ・開始日以前の貸出は対象外となります。
- ・貸出冊数の変更はありません。